

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 体験交流事業

札幌の子ども豊かな感性を育み、心身ともに健全な成長を育むほか、ジュニアリーダー研修生が活躍する場の提供を目的に、次のような体験交流事業を実施しました。

令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策のため、やむを得ず一部の体験事業において、実施方法の変更及び中止等の対応を取りました。

(1) チャレンジキッズフェスタ

〈札幌市委託業務〉

Zoomを使ったオンライン体験事業として、仲間と協力クイズに取り組むグループワークなどを実施いたしました。〈参加者数 延べ55人〉

- ◇ 第1回 9月11日(日)・・・3回に分けて開催
- ◇ 第2回 9月18日(日)・・・3回に分けて開催
- ◇ 第3回 9月19日(月・祝)・・・3回に分けて開催

(2) 大志塾事業

〈札幌市委託業務〉

北海道開拓150周年を契機に「北海道開拓の村」の指定管理者である一般財団法人北海道歴史文化財団の特別協力を得て実施しました。

異なった地域や学年の子どもが参加・交流する事業で、開拓の村クラフトなどを自宅で工作し、みんなの作品展としてWebサイトで紹介しました。〈参加者数 延べ240人〉

- ◇ 第1回 8月27日(土) ◇ 第2回 9月 3日(土)
- ◇ 第3回 9月10日(土) ◇ 第4回 9月24日(土)

(3) 子どもまつり事業

〈札幌市連支部独自事業〉

縁日・工作・物販コーナーなど、創意工夫を凝らした事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部の子どもまつりは中止又は内容を変更しました。

(組織形態:区支部が主催、子ども育成諸団体等との共催又は実行委員会のいずれかで実施)

中央区：第40回中央区子どもまつり	：	2月 5日(日)
北 区：北区子どもまつり	：	9月25日(日)
東 区：第22回東区ふれあい子どもまつり	：	11月 6日(日)
白石区：白石区子ども遊芽カーニバル	：	10月16日(日)
厚別区：第29回厚別区子どもまつり	：	12月18日(日)
清田区：子どもまつり	：	10月29日(日) *中止
西 区：第42回西区子どもまつり	：	10月16日(日) *中止
手稲区：子どもまつり	：	11月 3日(水祝)

(4) 地域における体験交流事業

★ 私たちのまちのカレンダーづくり

〈札幌市委託業務〉

今年の目標や私のまちの好きなところなど、参加者から寄せられたテーマ作品を「2023」のモザイクアートに編集し、今年のカレンダーを作成した。また、子ども会の育成者がWebサイトで応援メッセージを送る事業を実施しました。

特に令和4年度は、市制100周年・区制50周年(7行政区)の節目であったため、各区役所と連携し、「私たちのまちの好きなところ」の紹介動画を制作して配信しました。

〈参加者数:433組(小学1・2年生を含む家族)〉

☆ 子どもの居場所づくり事業

<札子連支部独自事業>

「こどもの交流の日」「子どもクッキング」「クラフト（工作）教室」「書初め教室」「遊びの広場」「プレイランド」「子どもの広場」「子ども遊びの駅」など、各区支部の特性を活かした名称で、延べ27回開催・子ども約1,900人が参加するなど、地域の交流を広げる居場所づくりを実施しました。

☆ 子ども会学校及びその他の体験交流事業

<札子連支部独自事業>

区支部の地域特性（区役所主催行事等の協力）及びネットワークを活かし、地域で仲間と「遊ぶ」活動が少ない子どもに、野外炊事・クラフト・レクゲーム・キャンプや集団活動する喜び・達成感を感じてもらおう子ども会学校などの体験交流事業を企画・実施しました。

中央区：市内見学	： 6月25日(土)	
第36回中央区ドリーム号	： 10月 1日(土)	
北 区：冬休み子どもお楽しみ会	： 1月12日(木)	
子ども会学校	： 2月11日(日)	
東 区：収穫祭「さとらんどへGO！」	： 8月27日(土)	
第39回さっぽろ・ひがしミステリーGO	： 9月11日(日)	
白石区：陶芸体験教室	： 11月12日(土)	
おうちでリモート百人一首かるた体験	： 1月29日(日)	*Zoomで実施
厚別区：厚別区民まつり(協力事業)	： 7月	*中止
創作の秋だ！学びの秋だ！ワクワク体験だ！	： 11月26日(土)・27日(日)	
(陶芸体験)		
新さっぽろ冬まつり(協力事業)	： 2月11日(土) 12日(日)	
清田区：子ども体験塾	： 8月 3日(水)	
第23回清田ふれあい区民まつり(協力事業)	： 7月23日(土)	
冬の遊び親子体験	： 2月11日(土)	
地域イベント(延べ8回)(協力事業)	： 5月・7月・8月・10月 1月・2月	
南 区：第44回ジャンボリー	： 8月20日(土)	
紋別市・南区子ども会リーダー交流会	： 1月28日(土)	
西 区：深川市・農業体験実習(田植え)	： 5月21日(土)	
(稲刈り)	： 9月24日(土)	
わくわく体験	：	*中止
子ども会学校「ECO&自然観察探検隊」	： 10月30日(日)	
手稲区：子ども会学校	： 8月 5日(金)	

☆ 野外活動推進事業

<札子連支部独自事業ほか>

各区支部で、青少年キャンプ場（小野幌・西岡・手稲）を活用し、野外活動が未経験な子どもを対象に、野外体験事業を企画・実施しました。

- ◇ 厚別区：わくわくキャンプ：7月31日(日)
- ◇ 清田区：野外体験：9月10日(土) *中止
- ◇ 西 区：西区子ども体験キャンプ：1月22日(土)～23日(日) *中止

(5) 地域の教育機関や企業等との連携事業

<札幌市委託業務>

新たに地域の教育機関や企業等と連携し、子どもが将来の夢や目標を身近に感じ、次世代を担う人材育成の重要性を醸成する場となる体験事業を、基本的に自宅・集合体験プログラムを組み合わせ実施し、合計で約3,100人の参加いただきました。

このうち、中学生を対象に2つの体験事業を開催いたしました。

- ◇ 豊平川びっくり塾 (協力：北海道開発局札幌河川事務所他)
 - ❖ 延べ3回→うち2回：自宅体験学習、うち1回：集合体験事業<7月23日(土)>
 - ❖ 参加者数：延べ120人
- ◇ まるまやZOOTIME (協力：札幌市円山動物園)
 - ❖ 延べ3回→2回：自宅体験学習、1回：集合体験事業<7月24日(日)>
 - ❖ 参加者数：延べ120人
- ◇ エネルギー塾～風の力を利用したクリーン発電～
(協力：札幌市環境局、コスモエコパワー株式会社)
 - ❖ 延べ3回→2回：自宅体験学習、1回：集合体験事業<10月1日(土)>
 - ❖ 参加者数：延べ120人
- ◇ みんなの☆ユニバーサルデザイン (協力：北星学園大学、北海道運輸局)
 - ❖ 延べ3回→2回：自宅体験学習、1回：集合体験事業<10月23日(日)>
 - ❖ 参加者数：延べ90人
- ◇ ふしぎ☆おどろきサイエンスキッズ (協力：札幌市青少年科学館)
 - ❖ 延べ2回→自宅体験学習
 - ❖ 参加者数：延べ150人
- ◇ シマエナガを守ろう～気候変動とSDGs
(協力：札幌市環境局、北海道大学大学院地球環境科学研究院、旭山森と人の会)
 - ❖ 延べ2回→自宅体験学習
 - ❖ 参加者数：延べ150人
- ◇ 北の海を守ろう
(協力：株式会社 札幌副都心開発公社(サンピアザ水族館)、札幌市環境局)
 - ❖ 延べ3回→2回：自宅体験学習、1回：集合体験事業<1月11日(水)・12日(木)>
 - ❖ 参加者数：延べ290人
- ◇ 自己紹介講座(自分らしさが伝わる)
(講師：株式会社ヒト・ラボ 代表取締役 村本麗子氏)
 - ❖ 延べ2回：Zoom活用のオンライン体験事業<1月21日(土)・22日(日)>
 - ❖ 参加者数：22人(対象者：中学生)
- ◇ 外国の生活文化講座
(協力：公益財団法人札幌国際プラザ(多文化交流部))
 - ❖ 延べ2回：Zoom活用のオンライン体験事業
 <韓国：1月10日(火) ドイツ：1月12日(木)>
 - ❖ 参加者数：12人(対象者：中学生)

(6) キャンプ場管理運営事業

<札幌市委託業務>

札幌市青少年キャンプ場(西岡、小野幌、手稲)を管理運営しました。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、テント泊・炊事活動の中止等の使用制限を実施した結果、ジュニアリーダー研修及び区支部事業の利用のみで、それ以外の利用はありませんでした。

キャンプ場	利用団体数	利用者数
小野幌	5団体	186人
西岡	3団体	70人
手稲	5団体	131人
計	13団体	387人

(7) 子どもの体験活動の場「Coミドリ」

＜札幌市補助業務＞

南区真駒内にある旧真駒内緑小学校の施設を活用し、子どもの自立性や社会性を育む目的で、子どもの体験活動の場「Coミドリ」を管理運営して3年目となりました。

初年度の令和2年度に整備した冒険遊び場（グラウンド）・アート遊び場（体育館）でプレーパーク・体験プログラムなどを数多く開催したほか、区制50周年記念事業の「南区芸術祭」及びNHK教育番組「テレドモ」の協力連携事業などを実施しました。

また、市内全域への広報活動（Webサイト・PRチラシ）に取り組みました。

その結果、新型コロナウイルス感染拡大により、長期間に渡る利用人数制限及び事前予約制などの制約があったものの、年間の利用者総数は前年度に比べて大幅な増加し、年間の利用者総数は**18,734人**で、前年度比11,389人増、約2.6倍となりました。

また、プレーパーク事業の区別参加者は、南区約45％・南区以外約55％となり、令和3年度より約10％下がったものの、引き続き市内全域からの来場がありました。

(8) お仕事体験事業

＜札幌市補助金事業＞

次代を担う子どもの興味・関心に基づき、普段は経験することのない職業体験を業界団体・専門学校等との協力連携により、おしごと体験事業として実施し、合計で**262人**の参加いただきました。（会場：Coミドリの体育館又は専門学校の施設）

- ◇ 盲導犬訓練士（公財）北海道盲導犬協会 54人
- ◇ 左官職人（札幌左官工事業協同組合） 35人
- ◇ 土木建設業分野（岩田地崎建設株式会社、株式会社田中組） 62人
- ◇ 看護医療分野（学校法人滋慶学園 札幌看護医療専門学校） 29人
- ◇ 芸術デザイン分野（学校法人美専学園 北海道芸術デザイン専門学校） 82人

2 育成事業

(1) ジュニアリーダー養成研修事業

＜札幌市委託業務＞

『心とワザを磨こう！～子どもたちに魅力のあるリーダーを育てよう～』を基本的な考え方とし、ジュニアリーダーを養成する基本研修・テーマ研修を実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大等の影響もあり、登録者・参加者が大きく減少しました。

名称区分		対象学年	ジュニアリーダー研修回数	登録者数 (令和5.3.31現在)
基本研修	(1) 養成研修	小学4・5年生	全4回（日帰り3回、宿泊研修2回）	756人 【登録者内訳】 養成：209人 初級：203人 中級：226人 上級：118人
	(2) 初級研修	小学6・中学1年生		
	(3) 中級研修	中学2・3年生	全5回（日帰り3回、宿泊研修2回）	
	(4) 上級研修	高校1年生以上	全6回（日帰り3回、宿泊研修3回）	
テーマ研修	10区	ジュニアリーダー	20回（日帰り研修・各区：「防災」）	200人(参加者数)
	全市	研修登録者、小学生	2回（日帰り研修：「防災」）	126人(参加者数)
	全市	ジュニアリーダー 研修登録者、中学生	2回（日帰り研修：「防災」）	8人(参加者数)

(2) リーダー研修事業

＜全子連・指定都市子連・札子連 共催事業＞

第51回指定都市子ども会ジュニアリーダー研修会札幌大会

- ◇ 日 時：令和5年1月7日（土）～8日（日）
- ◇ 場 所：真駒内総合福祉センター、子どもの体験活動の場C oミドリ（札幌市南区）
- ◇ 参加人数：80名（参加者32名、引率者・運営スタッフ・来賓36名）
（主催者（全子連・指定都市子連・札子連）10名、来賓2名）
- ◇ 特記事項：ウイズコロナ禍のため、夜の研修・交流事業は取りやめ、一部の都市はオンライン参加としました。

（3）育成者研修支援事業

＜札子連独自事業＞

子ども会活動の課題を他都市子連の関係者と意見交換し、札子連事業等への還元を目的とする研修会に参加した。また、区支部においても育成者研修会を実施しました。

- ◇ **第55回全国子ども会育成中央会議・研究大会**
 - ❖ 日 時：令和4年10月29日（土）～31日（月）
 - ❖ 場 所：長野市芸術館
 - ❖ 参加者：ウイズコロナ禍のため、参加を見合わせた。
- ◇ **第58回指定都市子ども会育成研究協議会**
 - ❖ 日 時：令和4年11月26日（土）～27日（日）
 - ❖ 場 所：KKRホテル大阪
 - ❖ 参加者：会長、常務理事、事務局（総務主幹）、個人表彰者（3名）

（4）職員研修事業

＜札子連独自事業＞

安全共済会加入手続き、新型コロナウイルス感染防止、市委託業務の運営方法・報告手続きについて、定例の職員ミーティング及び職員研修会を開催しました。

（5）札子連修了生の会（S10LC）助成事業

＜札子連独自事業＞

令和4年度は、ウイズコロナ禍で事業の実施はありませんでした。

（6）子ども会体験活動助成事業

＜札子連独自事業＞

- ◇ ウイズコロナ禍ではありましたが、9区57団体に利用いただきました。
（1団体 上限20,000円）
- ◇ 子ども会を立ち上げる団体への助成事業を実施し、1区（東区）・1団体へ活動助成を実施しました。（最長3年目まで助成）

（7）子ども会活動表彰事業

＜札子連独自事業＞

- ◇ **札子連表彰**
当連合会の定時総会で、表彰状並びに記念品を贈呈して表彰しました。
 - ❖ 単位子ども会：1団体（7年以上にわたって活動）
 - ❖ 子ども会育成者：15名（10年以上にわたって活動）
- ◇ **全国子ども会連合会表彰**（20年以上活動にわたって活動）
 - ❖ 単位子ども会：1団体
 - ❖ 子ども会育成者：2名
- ◇ **指定都市子ども会連絡協議会表彰**（20年以上活動にわたって活動）
 - ❖ 単位子ども会：1団体
 - ❖ 子ども会育成者：3名

3 普及啓発事業

＜共同募金会助成事業・札子連独自事業＞

子どもやその保護者、地域の関係団体や住民の皆様に、活動の楽しさや子どもの成長など、子ども会の意義やその成果を知っていただくために、広報誌の配布等によるPR事業について、単位子ども会のほか、市内の小学校・児童会館・区民センターなどを通じて実施しました。

また区支部では、赤い羽根共同募金の街頭啓発に協力をいたしました。

- ☆ さっぽろっ子（札子連の広報誌） 年1回発行（3月）15,000部
- ☆ 各支部の広報紙・機関紙 年1～2回発行
- ☆ パネル展 区支部ごと、各種行事に合わせて開催
- ☆ 札子連Webサイト Web申込みなどで増加（令和2年6月にリニューアル実施）

区 分	閲覧数（セッション数） ※ 訪問者が開いたページ数	閲覧数の増減	訪問者数	訪問者数の増減
令和4年度	75,311件	13,257件増	44,176人	9,578人増
令和3年度	62,054件	—	34,598人	—

4 安全共済会事業

＜全子連委託業務・札子連独自事業＞

◇ 全子連の安全共済会への加入者数

❖ 令和4年度:19,749人＜前年度 552人減(約3%減)＞

※ 令和3年度 :20,301人＜前年度4,127人増(約25%増)＞

※ 令和2年度 :16,174人

◇ 単位子ども会数

❖ 令和4年度 :309団体 <対前年度22団体増>

※ 令和3年度:287団体 <対前年度28団体減>

※ 令和2年度:315団体

◇ その他

また、会員の怪我発生時に支払われる医療共済金は、ウイズコロナ禍で発生しませんでした。このほか、10年無事故の単位子ども会18団体に、賞状・記念品を贈呈して褒賞しました。

5 重要な契約の報告

契約の概要（業務名）	相手方	契約金額
札幌市ジュニアリーダー養成研修企画・実施業務	札幌市	103,950千円
札幌市「子どもの体験活動の場」運営事業費補助金	札幌市	26,993千円

6 管理運営の報告(令和4年度末)

☆ 理事：15名（非常勤14名、常勤1名）（会長1名、副会長2名、常務理事1名）

☆ 監事：2名

☆ 理事会：令和4年6月7日(月) 令和4年度 第1回理事会

令和5年2月27日(月) 令和4年度 第2回理事会

☆ 総会：令和4年6月26日(日)

☆ 事務局：本部事務局、区支部事務局（10区）、Coミドリ事務局

<主要な職員>

本部事務局：事務局長、総務主幹、地域連携事業主幹、調整主幹

研修事業係長、体験事業係長、調整主査

※ 事務局次長（令和4年6月30日自己都合退職）

Coミドリ事務局：施設長

※ 事業係長・調整主査（令和5年2月28日自己都合退職）